



二所一関



九月場所結果

序口		序二段									三段目						幕下		十両	幕内
東10	東3	西102	東102	西93	西86	西76	西74	西23	西20	東18	東78	西72	東40	西37	東37	東7	西48	東24	東9	東横綱
西勢郷	住吉	総勢山	山田	足立	田中	阿見大心	澁谷	内間	今村	林龍	谷口	貴正道	羅漢児	藤宗	麟虎	古田	麒麟龍	花の海	白熊	大の里
4 3	3 4	5 2	2 5	4 3	6 1	5 2	5 2	3 4	5 2	全休	4 3	2 5	4 3	5 2	4 3	3 4	5 2	6 1	8 7	優勝13 勝2

十二月場所新番付

序ノ口		序二段									三段目						幕下		十両	幕内
西 5	西 4	東 89	東 77	西 61	西 55	東 45	東 39	東 35	東 28	東 10	西 66	東 60	東 25	西 21	東 20	東 16	東 29	西 7	西 7	東 横綱
山 田	住 吉	林 龍	西 勢 郷	足 立	総 勢 山	内 間	阿 見 大 心	澁 谷	貴 正 道	田 中	今 村	谷 口	羅 漢 児	麟 虎	古 田	藤 宗	麒麟 龍	花 の 海	白 熊	大 の 里

幕下が大勝ちで躍進の九州へ

花の海 6 勝、麒麟龍 5 勝と幕下 2 人が快勝。花の海は巡業中にアクシデントがあったが、基礎に立ち返り徹底的に身体を鍛えたことが功を奏した。格の違いすら感じる押し相撲が冴えた。麒麟龍はコツコツ稽古を重ねたことで地力アップ。相手の懐に入り、大型力士を真っ向押し出す相撲は小兵とは思えない強さだった。実はこの 2 人は小学生時に同じ相撲クラブで稽古をした中。東京都出身のライバル、関取争いが現実味を帯びてきた。



大の里、優勝決定戦を制して V5

いよいよ番付最高位、東の横綱となった大の里。新横綱の先場所での巻き返しを誓い、夏巡業から稽古に励んで調整してきた。初日から順調に白星を重ねるも、もう 1 人の横綱豊昇龍が絶好調。終盤まで追う展開から、千秋楽では横綱同士の決定戦を制しての 5 回目の優勝を果たした。東西の横綱が常に優勝争いを引っ張り、直接対決。豊昇龍に幾度となく苦杯を舐めさせられていた大の里にとっても、今回の優勝は格段の喜びであったに違いない。場所は付け人とロンドン公演へ。休まる暇もないが、ケアも怠らずに締め九州へ乗り込む。



田中が大勝ち、地元で三段目挑戦

番付デビュー 2 場所目の田中が 6 勝。稽古場での力を出し切れば不思議ではない成績だが、本番で勝ちきれたのは成長の証である。丸い身体を活かした押し相撲は高校時代よりもレベルアップしてきた。熊本県出身で初のご当所となる九州場所。応援に来る家族を安心させてあげるような連続勝ち越しを期待したい。



勝ち越しの白熊、復活の狼煙

3 場所連続で負け越し中、十両下位まで番付を下げてしまった白熊。体調も戻り、順調な調整が続いていたが、番付発表後にまたしても体調を崩してしまう。そんな苦しい中ではあったが 8 勝と久しぶりの勝ち越し。中でも優勝争いをしている新鋭を退けるなど、意地を見せた。苦しい中こそ新たな光明が見えるもの。これを機に幕内目指して進んでもらいたい。



二所ノ関親方の総評コーナー！

大の里がお陰様で優勝できました。今までは初日から逃げ切り優勝でしたが、今回は初めて追う立場からの優勝。精神的にも成長してきた証だと思います。またこれで一皮剥けたのではないのでしょうか。白熊は本来の力を考えたら納得いかない勝ち越しです。身体の鍛錬とケアをしっかりと、三役目指すくらいで精進してほしい。下からは花の海、麒麟龍が本当に力を付けてきました。白熊もウカウカしているとすぐ抜かれてしまいます。若い衆も良く頑張って好成績な場所でした。特に三段目中位の麟虎、藤宗、羅漢児の 3 人が勝ち越し。もう幕下に上がれる力があります。序二段でも大勝ちの力士が多く、誰が三段目に上がれるか、楽しみです。関取も幕下以下も関係なく、相乗効果で燃えてくると本当に楽しみです。好成績の次の場所が大事ですので、九州でも継続していけるように稽古に精進あるのみです。

西勢郷、苦境を乗り越えた初勝ち越し

相撲未経験の 15 歳で入門。最初は勝つこともままならず、更には体調不良からの手術を 2 回経験。一時は引退さえも考えた西勢郷。心が折れてもおかしくない苦境の中、笑顔を絶やさずに明るく振る舞い、稽古に精進してきた。地力も付いてきて嬉しい初勝ち越しは二所ノ関部屋を元気にしてくれた。あとは前に進むのみ、今後の西勢郷に大いに期待である。

